

学友会東京支部だより

南高

発行 和歌山県立南部高等学校
学友会東京支部
所在 〒363-0022
埼玉県桶川市若宮1丁目
8番地 12-204

浜離宮恩賜庭園・隅田川クルーズ・浅草 東京スカイツリー散策

6月2日(土)9時半、新橋駅前SL広場に18人の南高学友会メンバーと、特別参加の田辺高校卒の山下さん・今治西高校卒の森本さんの計20名が集まり、散策スタート。

⇒汽笛一声新橋を♪～の旧新橋ステーション跡を見学後、⇒宮崎 駿さん(アニメーション作家・映画監督・脚本家・漫画家)制作の日テレ



の大時計の前で記念撮影。⇒汐留の林立する巨大な高層ビル群を抜け、⇒浜離宮恩賜庭園へ。ここは徳川将軍の鷹狩場であったがその後、将軍家の別荘となった。この庭園は潮入池を中心とした回遊式臨海庭園で海水の

干満で水位が変わる海辺の庭園です。昔は旧芝離宮恩賜庭園・清澄庭園・旧安田庭園なども潮入の池でしたが、今はここだけが海水が流入する庭園なのです。潮の香りを嗅ぎ、故郷の海や磯に思いを馳せながら園内を散策。⇒浜離宮より船に乗る。船内は外国人の観光客が多く、いろんな国の言葉が飛び交う。



兩岸の景色・隅田川に架かる橋・上り下りする船・川岸を散歩する人、語らう人、読書をする人、スケッチをする人達を眺めながら、船は川をさかのぼる。遠くから見てもデッカイスカイ



ツリーが更にデッカクになって目前に迫り、船は浅草の船着場に着く。

昼時となり、会員の方がよく利用されている雷門傍の和風レストランで昼食を食べながら団欒。⇒仲見世⇒浅草寺 ⇒六区と歩き、⇒世界カバン博物館を見学。ここは世界50ヶ国以上から集められた珍しいカバンや、著名人より寄贈されたカバン等550点余りを収集。カバンの文化や歴史にも触れることができる世界でも珍しい博物館です。8階のビューラウンジで一休み後、再び隅田川へ。川沿いでスカイツリーをバックに記念撮影。⇒言問橋を渡り、⇒スカイツリー下へ。スカイツリー人気で周辺は人人人。

第6回学友会東京支部総会・懇親会 決まる

日 時：平成25年6月1日(土) 11:30～15:00

場 所：グランドプリンスホテル新高輪

ふる里を懐かしみ、楽しいひとときを過ごしませんか!

皆さまのご参加をお待ちしています。

とうきょうスカツリー駅前で寺西支部長の挨拶があり、幹事の灘井さんが帰りの道順の説明をして、流れ解散。暑くもなく、程良い天気恵まれ、事故もなく、楽しい一日を過ごすことができました。本日の歩数 約 18,000 歩 皆さんお疲れさんでした。

今回、参加されなかった方、次も企画しますのでお誘い合わせの上ご参加ください。お待ちしております。



「ウォーキング 新橋～浅草 のお誘いを受けて」

今回、ウォーキングのお誘いを木村さんより受け、初参加させて頂くことになりました。

木村さんとは、杉並区高円寺の草野球チームで知り合い、20 年来のお付き合いをさせて頂いています。私は愛媛県今治市出身で、当初は出席してお邪魔にならない？どうしたものかと思案しましたが、2 年程前には和歌山散策したこともあり、これもご縁と思い図々しく参加といたしました。

ウォーキングには 20 人位の方が参加され、参加者の中では私は若い方だと聞いてドキドキし

ながらサラリーマンの夜の聖地、新橋駅 S L 広場へ。木村さんと S L 前で落ち合い、皆さんが集まっている駅前の木陰の輪の中へ、外部参加の山下さんと私が紹介され加えて頂きました。幹事の方の散策コースの説明などお話の後、

いよいよウォーキングスタート。

ーウォーキングの印象深いところからー

日テレのからくり時計を見て、浜離宮へ。海に面する風情ある徳川将軍家の庭園を散策しました。ここは車で近くを通りますが、いつも素通りしていた場所です。園内の船乗り場から、隅田川沿いの風景・スカイツリーを楽しみなが



浜離宮恩賜庭園

森本 茂 (横浜市 在住)

ら浅草への船旅です。丁度お腹も空いた頃、お昼となり、雷門近くの和食屋さんで昼食を美味しく頂きました。六区・ブロードウェイと回り、

世界カバン博物館ではかばんの歴史・有名人所有かばんを見せて頂き、見識を深めることが出来ました。ほどよく疲れを感じながら、言問橋を渡りスカイツリーふもとへ。街はやはり大変な賑わいで、職人の手作りの品が並ぶお店や、美味しい有名な食べ物屋もあって雰囲気のある私の好きな町並みでした。とうきょうスカイツリー駅前に集まり、支部長さんの挨拶の後、幹事さんから帰りの電車の乗り継ぎの説明があり、解散となりました。スカイツリーは見上げると本当に首が痛いですヨ。



六区通りの大道芸

ウォーキング中は、多くの方とお話させて頂きながら、アッという間の楽しいひとときを過ごすことが出来ました。今回は外部参加の私を仲間に入れて頂き誠に有難うございました。

最近退職し、新しい人との出会いがめっきり減ったところです。今回、新しい人との出会いができ、本当にいい刺激ある一日でした。また、東京と横浜に永く居てもなかなか行くことのなかった所に案内して頂き、幹事さんと皆様にお礼申し上げます。

南高学友会の更なる発展とご活躍を期待しております。また折がありましたら、お誘い下さい。宜しくお願い致します。



仲見世～浅草寺

昔ながらの下町の面影を残す谷中・根津を散策

10月27日(土)

さわやかな秋風がこちよい季節、私たち学友会員とその友達 21 名は 谷中・根津界限を、江戸下町の情緒に浸り、のんびりと おしゃべりに興じながら 散策を楽しみました。



谷中霊園でボランティアガイドさんの説明に聞き入る参加者



散策コース

日暮里駅(集合)9:30 → 谷中霊園(徳川慶喜の墓他)五重塔跡 → 観音寺(ついじ堀)
夕やけだんだん → いせ辰 谷中本店 → 大名時計博物館 → 根津神社 → 上野不忍池
→ 金太楼鮎<昼食> → 旧岩崎邸庭園 → 御徒町(解散) 15:30

「ウォーキングに参加」

「昔ながらの下町の面影を残す谷中・根津を散策しませんか!」に参加しました。計画してくださった方々は下見を行い、観光ガイドマップやパンフレットをとり寄せ当日の工程表を作り準備していただきました。お陰さまで参加者 21 名、気楽におしゃべりをしながら散策、秋の一日を楽しむことができました。近場と云えども一人ではなかなか出向く気にならないような場所にも立ち寄り、全く予想外の場面に出合い、新しい発見になりました。



観音寺のついじ堀

数多くの著名人が眠る谷中霊園もその一ヶ所です。徳川家代々の広大な墓地、地方の大名・藩主にはじまり、私どもでもわかる方では、鳩山一郎首相、俳優長谷川一夫と有名な方々のお墓が並んでいました。そんな中でまるで路傍の石のような小さな墓石四基並んでいるところがありました。目立たないそのお墓は加波山事件とかの死刑者の墓とのことで、まことに目立たず片隅に葬られていました。世間にはばかれる身内をもった親戚・縁者が四人の死をあわれみ、せめて同じところに葬ってあげたいとの思いが伝わ

昭和 31 年卒 石田 明子 (千葉県八千代市 在住)

ってくる様でした。それから谷中銀座は、昔懐かしい商店街でした。“夕焼けだんだん”の坂を下りてゆきますと、車も通らない道の両側にぎっしりと軒を並べた通りで、東京のど真ん中とは思えないところでした。通行人の私共は昔にタイムスリップしたような気分で購入や散策を楽しみました。それに旧岩崎邸庭園も見学しました。明治洋風建築の重要文化財に指定されているようです。庶民とはかけ離れた広大な屋敷のたたずまいを驚いたり感心したりしながら見てまわりました。機会があれば近場の東京見物もお勧めのコースです。友人の方々とふらり出かけられるのもよいと思います。私自身出かける前は、同級生は誰も参加していないのでしょうかと迷ったりしたものです。けれど参加してみると皆ふる里が同じということで、町の話、友人知人の話とつながり、気付けば昔ながらの仲間のように話している自分を見つけました。近所隣の人々とのおつきあい大切に、又ふる里の人々との集いにも元氣な限り積極的に参加できれば幸いです。企画、お世話してくださった方々に心から感謝致します。ありがとうございました。





幼少の頃、よく父に連れられ須賀神社での秋祭りに行ったことが、今とても懐かしく思い出されます。うっそうと茂った木立、広くて長い馬場、その中をものすごい勢いで馬が駆け抜けていった姿は、数十年経った今も鮮明に心に残っています。

今回の「ふるさとからのたより」は、須賀神社宮司 楠本誠二さん(昭和 43 年卒)に、須賀神社・お祭りのことについて執筆していただきました。

須賀神社と祭典・特殊神事について

「須賀神社」はみなべ町西本庄 2 4 2 にご鎮座し、991 年南部荘のご鎮守として斎祀り近郊の村々の氏神であります。

御祭神は第 1 殿須佐之男命すさのおのみこと、第 2 殿櫛稲田姫命くしなだひめのみこと、第 3 殿八柱御子神やしろのみこがみ 配祀 25 社の神をお祭りしています。

第 1 殿および第 2、第 3 殿は、昭和 43 年 6 月に和歌山県文化財に指定され、一間社隅木入春日造り、丹塗極彩色をほどこし、御屋根は桧皮葺にて古い形式を今日に伝えています。

社殿は、天正 13 年(1585 年)の羽柴秀吉南征の兵火により焼失したが、その後領主、地頭によって再興され、以後幾度の御屋根替等も行われ、その棟札も 30 数枚の多きに達します。現在の建物は江戸中期(250 年前)以後の建立になるものであり、3 殿とも良く整った形態を備え、豊富な彫刻がほどこされています。古建造物の遺存するものが少ない紀南地方においては、貴重な存在です。毎年次のような祭典および特殊神事を行っています。



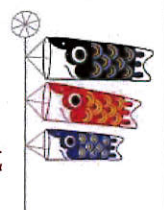
◇ 1 2 月 3 1 日夜中除夜祭、引き続き 1 月 1 日夜中歳旦祭

この祭事では 3 本の松明に忌火を付け、稲の吉兆を占います。すなわち早稲、中稲、晩稲の作柄です。早く燃え尽きた松明が本年の豊作を示し、その稲の種を蒔きます。



祭典・神事

1 2 月 3 1 日	夜中除夜祭、引き続き 1 月 1 日夜中歳旦祭
1 月 9~11 日	戎祭
2 月 1 日	厄除・還暦祈願祭
4 月 1 5 日	祈年祭、御田祭 きねんさい おんださい
5 月 5 日	母子祭
7 月 9 日	夏祭り…獅子舞奉納と神前式
1 0 月 4・8・9 日	例祭秋祭り
1 1 月 2 3 日	新嘗祭 にいなめさい (新穀感謝祭)と敬老祭
1 2 月 2 8 日	大祓い



◇1月9日・10日・11日戎祭

昭和30年、西宮戎神社より紀南分社としてご分霊されて以降、当社大祭のひとつとなります。各地区より福娘が選出され、又、えびす大祭を盛大に挙げるため、氏子で組織された戎奉賛会会員約80名が中心となり3日間ご奉仕します。大祭中の3日間に行われる餅まきは大いに盛り上がり、戎大神の福笹・餅を求めて県内外から多くの参拝者が訪れています。またこの時に撒かれる餅は重さにして2トンを超えます。尚、戎奉賛会が主となり各地区でつくられた餅が運びこまれています。



戎大祭餅まき

◇2月1日厄除・還暦祈願祭

当年の厄年に当たる人が集まり厄払いをします。この時、祈願者等は各々歳の数の餅やお菓子を御神前に御供し、祈願祭終了後に厄餅として境内で撒きます。自身の厄や罪穢れを餅に宿し皆に拾って頂くことで厄を分散し軽くするといった昔ながらの風習が続いています。一般の方が厄餅を拾って大丈夫なのかと心配されますが、力餅という言葉があるように生命の為の源をむしろ沢山餅を食して頂き、丈夫で健康な身体となって頂くようお話をさせて頂いています。

◇10月例祭秋祭り



秋祭り競馬神事

一番賑やかな行事であり、昔からのぼり幟祭りと言われるほど、各地区から持ち寄られる色とりどりの幟が祭りをより華やかにします。宮の境内では多数の催し、笛太鼓のお囃子がありにぎやかな日となります。10月4日馬揃へ、8日馬場での競べ馬と宵宮で各地宮も賑わい、9日本宮となります。本宮の当日は午前、神事・神子舞・なおり直会と続き、午後からは一の鳥居脇にある御旅所より神輿渡御が、本殿前まで3時間かけて巡行します。宮入後境内にて獅子舞奉納した後、祭礼終了の合図とともに境内に立てられた各地区宮幟が一斉に倒され、最後に馬場で6頭全ての馬が出走し祭りが終了となります。

また渡御は当社の御祭神を今の地に勧請した際の勅使下向を再現したものとされ、秋祭り競馬神事においての2頭駆けは現在県内に於いて非常に珍しいものです。境内にある素晴らしい馬場とともに後世へと引き継ぎ、今後も変わらぬ当社の秋祭りが続いていくよう神社関係者や地域の方々と連携し残していくことが我々神職に課せられた使命です。

◇11月23日新嘗祭（にいなめさい新穀感謝祭）と敬老祭

新嘗祭では本年無事に農作物が収穫できたことを神様に感謝申し上げ、新穀を御神前へと御供えます。また、敬老祭では本年80歳以上の方にお参り頂き、ご高齢の方々に対して心から感謝と敬愛を捧げるとともに御長寿を祝福し今後尚一層の御長命をお祈りします。現在対象者は500名を超え、ご高齢とはいえ非常に元気な方々が多いです。ご長命へとつながる要因として、地元の梅干しを長年食されていることもひとつあるのではないかと感じています。

◇12月28日大祓い

1年中の罪穢れを祓い清める行事で、神前式の後、古くよりけっさい潔斎の場であった精進淵（神社前の川原）にて神事を執り行います。人形を用いて身に着いた1年間の罪、穢れを祓い清め、新たな年を迎える神事です。



一の鳥居・馬場（参道）

*須賀神社に関する事項はインターネットに掲載しておりますのでご覧ください。須賀神社 <http://sugajinja.ikora.tv/>



岡村茂子さん 旧南部中学校の校歌をCD化

みなべ町北道在住の岡村茂子さん(ピアニスト)は、旧南部中学校の校歌「応援歌」「修学旅行の歌」の3曲をCDで復元し楽譜も作成されました。

同校は昭和40年に岩代中学校と統廃合になり、当時の校歌などの資料がなく曲が演奏できない状態でした。“卒業した中学校の校歌が聴きたい”という東京支部会員の思いを強く受け止められ、“何とか演奏できるように復元したい”と、調査に取り組みました。そしてようやく完成されたのです。手がかりが得られるまで大変なご苦労がおりだったことと思います。

「殊に応援歌は、戦後の新制中学創設時に南中で教鞭を執っておられた宮崎泰行先生が作曲されたもので、93歳になられた先生が現在東京にご健在でおられたことから、直接お会いすることができ、当時のままに修正して残せることができました」とのお話でした。

このような貴重なことに取り組んでくださった岡村さんにあらためて感謝申し上げます。

完成したCDと楽譜は、みなべ町教育委員会・南部中学校や図書館に寄贈されています。

当支部にも持参され希望者に提供していただきました。

なお、同校では掃除の時間にこの「応援歌」を流しているそうです。

図書館ではCDや楽譜をコピーする方もいるようです。

これからも生徒の皆さんにずっと歌い継がれていくことでしょう。



首都圏から故郷へ！ 夜行高速バス直行便 3月29日より運行開始

*2013年3月28日(木)発行 紀伊民報より

明光バスと西武観光バスは今春から紀南と横浜・新宿・池袋・埼玉を結ぶ夜行高速バスの運行を開始する。1日1往復

上り 白浜町・新湯崎 午後7時25分 出発 → 田辺駅前 午後8時 → みなべ町 → 印南町

→ 御坊市 → 有田川町 → 海南市 → 和歌山市 経由 → 横浜駅東口 午前5時27分 → 新宿駅

→ 池袋駅 → さいたま市大宮営業所 午前7時39分 到着



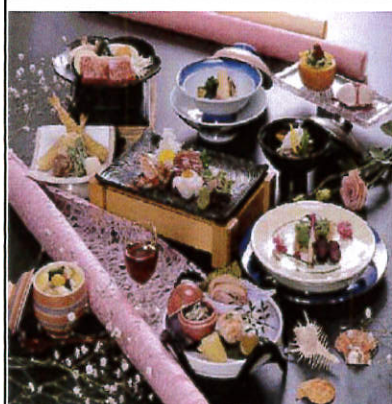
下り 大宮営業所 午後7時50分 出発 各停留所経由 白浜町・新湯崎 午前8時1分 到着

◇車両は旅客定員28人の大型バス。1人掛けリクライニングシートでトイレを装備している。

【運賃・・・曜日別に設定 白浜町内・田辺市内→新宿駅】

年末年始のピーク時	¥11,000
週末	¥10,000
平日	¥9,500
閑散期	¥8,500

♡ 夜行高速バスに乗る時、あると便利なグッズ
飲料水・軽い食べ物・飴玉・ガム等々と¥100
ショップで売っている携帯首枕と腰枕。



※季節により献立の内容が若干変更になる場合がございます

同窓会宿泊プラン

期間：土・休前日・シーズン期を除く通年

全コース1泊2食付(税・サ込) 記念写真代込み

■思い出コース ■華やきコース ■悠々コース
10,600円 11,600円 13,600円

★プラン特典

①幹事代行サービス ②カラオケサービス ③記念写真撮影

*代行案内状作成・発送(一件につき代金別途150円)

国民宿舎 紀州路 みなべ

〒645-0004 和歌山県日高郡みなべ町植田1540

TEL.0739-72-3939

FAX.0739-72-5616

http://www.kishuji-minabe.jp/



露天風呂
眺望絶佳

おたよりコーナー

「わたしは城が好きである」

——私は城が好きである。あまり好きなせいか、どの城趾に行ってもむしろ自分はこんなものはきらいだといったような顔を心の中でしてしまうほど好きである。——

(『街道をゆく』「大和・壺阪みち」より)

大和・壺阪みちには、見事な石垣で知られる高取城跡がある。近世の城郭としてはめずらしい山城で、しかも水堀が存在する。このような城跡でも麓で尋ねると「お城なんてないよ」とお決まりの言葉が返ってくる。

「城」とは、天守や櫓のことと理解しているようだ、というわたしもそんなふうに思った頃があった。そのイメージを変えたのが、南部中学での社会科の授業。八丁田圃にある高田土居城跡(みなべ町気佐藤)の話を聞いてすぐ現地を訪ねた時である。その印象が強烈だった。それがきっかけで、城への思いが深まり、高校の三年間は、図書館で郷土史・誌を写す日々を送り、東京での四年間は、城郭研究に打ち込む仲間の姿に刺激を受けた。その仲間は今、城郭学を見いだした先駆者として、著書やテレビで活躍をしている。

「城」は武士だけのものではなく、集落(村)が、農村が、そして漁村が、さらに寺院が自分たちの領域を守る為に城構えや見張りの城を持った。もちろん、戦の城、居住の城(館・土居)、連絡の城(のろし台を含む)、政庁としての城(陣屋を含む)等々、社会の背景が様々な構造の城を造り出した。その曲輪(区画)の配置(縄張り)に

は、人間の思い込みを巧みに活用した「守る知恵」が、石の積み方や建物にも人の知恵が満載で、それぞれの時代や石工と大工の技術変遷を知ることができる。

そこにさまざまな人間模様を読みとることができる。それが何よりもおもしろい。

「城」に魅せられて、はや50余年が過ぎた。高田土居城跡は今、阪和自動車道のみなべICになってしまった。そんな城跡は全国にたくさんある。西岩代の市谷山城跡(岩代梅林)は、開発で碑一本になった。開発と遺跡保存の共存は難しいが、それを実現したマンションが長岡京市(京都府)にある。これは理想的な開発例であるが、碑すら建てられず、伝承からも消えていく城の方がはるかに多い。そんな場所でも、ここが城跡だったと聞くだけで心が騒ぐ。

そして、毎回冒頭の言葉で始まったテレビ番組「司馬遼太郎と城を歩く」を思い出し、ひとりでも度々頷きながら歩き始める。

「城」から学んだ人生は、一口で言い表せないほど多い。だから…やっぱり、わたしも城が好きである。



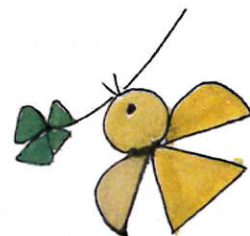
観光ガイドさんの研修講師として
新宮城跡の石垣前にて

私の 音楽療法

【歌って健やか】心と身(からだ)と声をひらく

私達は、ふだん様々な「ヨロイ」をまとって生きています。身と心は知らないうちに歪められ、こわばっています。日常生活の中で知らず知らずに作られてしまったこの「こわばり」が様々な「ひずみ」をもたらして、心や身の故障を引き起こし、医師の手当てや薬がその効力を

発揮できなくなります。それ故、健康に生きるため常日頃、この「こわばり」をほぐして、のびのびと身も心もリラックスさせる必要があり、音楽を通じてその方策を見つけ出そうとすることが、音楽療法です。



音楽療法士 昭和 30 年卒 宮本 昌子(千葉県四街道市 在住)

音楽療法は、大別して次の四つに区分することができます。

- ① 各種音楽を聴くこと
- ② 各種楽器を演奏すること
- ③ 歌を唄うこと
- ④ 以上の三つを組み合わせて行うこと

上記の事項により、心身の「こわばり」をなくして、心身を自然な状態に復して、自然治癒力を維持しておくことが、音楽療法の目指すところです。

私の音楽療法の主たる領域は、③の **歌を唄うこと 声を出すこと** による療法です。

私の目指す音楽療法では、「**歌って健やか**」と題して、歌うことを実践し、楽しみながら心とからだを好ましい方向に持っていくことを主眼としています。

「歌うのに体操は必要ですか。」「疲れているのに歌なんか。」と思う人、「歌は苦手で・・・」、「生まれつき悪声で・・・」などと臆病になる人がいると思いますが、決して“良い声を出すこと”を求めるのではなく、“上手に歌うこと”を追及するのではなく、息がなめらかに流れ出て、歌う人も聴く人も良い気持ちになれたらいいな！と考えるのです。

その時、心は穏やかに安らかになっているはずです。

声について再考してみますと、自分は生まれつき悪い声なのだと思っている人、疲れやすい声や思うように相手に伝わらない声に悩む人、あるいは初めから声を出す楽しさや歌う喜びを放棄してしまっている人など・・・様々です。

声は、心の動きや身（からだ）の柔らかさに影響されます。そのため、まずは、身（からだ）

育てから（従来の筋力を鍛える体操ではなく）呼吸を含めて、自然に自分の身（からだ）と対話をしながら、“無駄な力を抜く”ことを覚え、自然な声をみつける努力をする必要があります。

人は誰でもその人本来の声（自然な声）で語り、歌うことができるのです。それは同時に身（からだ）もらくになり気持ちも良くなることでもあります。

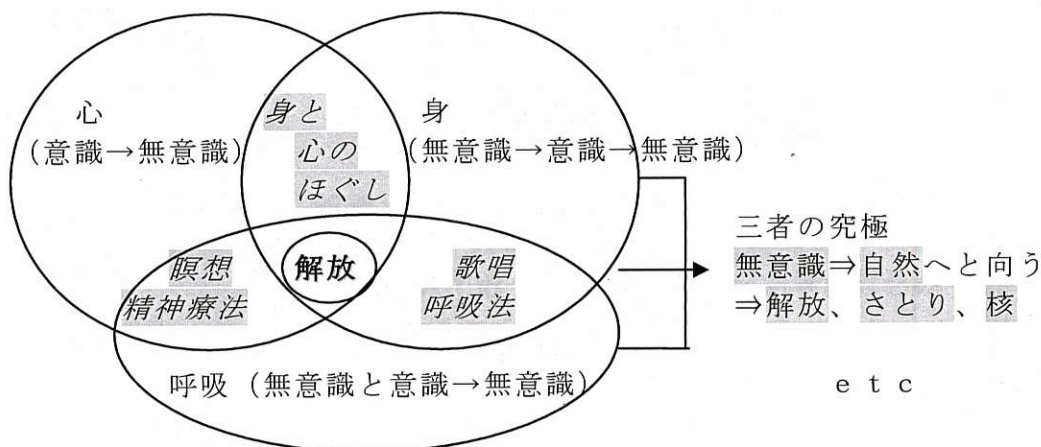
私は、元芸大名誉教授 野口三千三氏の提唱される野口体操の原理をベースに、東洋の身（からだ）育て、ヨガ、気功などをとり入れた独特の「身（からだ）ほぐし」を追求し、自然の声をみつけ、身（からだ）の歪みを発見し、心のこわばりをほぐしていきたいと研究を続けています。

学問的には、「からだ・心・呼吸の相関関係」について探求しています。私達の呼吸は無意識的に行われがちですが、「からだ・心・呼吸」に好影響を与える呼吸法があると考えられています。その望ましい呼吸法に少しでも近づくことができればと、歌唱の発声の実践をつうじて探求しています。



追記：1 「からだ・心・呼吸の相関関係」は、次のように考察しています。

からだ（身） 心（心） 呼吸 の関係図



追記：2 私のホームページ「歌の玉手箱」 www.utanotamatebako.com を合わせて閲覧下さい。

「綱渡りの半生」

昭和 29 年卒 前田 至美 (千葉県八千代市 在住)

平成 24 年 5 月で 77 歳になりました。私、よくぞ長持ちしたと考えられるこの頃です。生まれたときは、そんなに生活の苦しい家庭ではなかったのですが、昭和 25 年 9 月 11 日(15 歳)のジェーン台風後の生活の変わりようは想像すらできませんでした。

台風から一週間後の父の胃癌での死、今のようには保険制度のない頃ですから田畑の 2・3 枚売っても追いつかないような多額の医療費の支払いが残り、それからの私たちの家族の様変わりには想像もつかない状態だったことを思い出します。

高校時代も毎月授業料未納で校門に張り出された 3 年間でした。卒業の昭和 29 年、親戚の皆様の骨折りで南部町役場に奉職したのですが、当時南部町は現在の夕張市と同じ債権団体のため 2 年間給料が据え置かれました。それと、同級生に給料泥棒と言われたことで、これではと思い昭和 31 年春故郷を離れ大阪へと思ったのですが、どういうわけか東京へくる破目になりました。

最初は婦人下着の会社に勤めたのですが、この会社は入社 4 ヶ月で倒産の憂き目にあい、つらかったのが今も鮮明に覚えております。倒産後一度故郷に帰ってみたものの回りの目が針の先のように見えてとても居づらく、何が何でも再度南部を後に東京へと舞い戻りました。東京に着いてからも職を転々とし 8 回目にしてようやく今の仕事の関連にたどり着きました。

その間に生活が苦しいため夫婦間に亀裂が入

って離婚寸前までいきましたが、夫婦で何度も話し合いました。共に我慢したことが結果としてよかったと感じるこの頃です。

仕事の方は 42 歳の男の大厄に素人からの出発でした。

平成 25 年度で、独立して足掛け約 35 年になります。今までよくぞ倒産せずにきたものと、我ながら感無量の気持ちです。

昨年のはじめ 3 ヶ月ばかり筋痛症にとりつかれ殆ど動けない状態になりました。家内や子供の介抱で元の状態近くまで回復しました。人生には悪いこともあります、少し良いことがあると喜びになります。

昭和 32 年、二度目の上京の際、片道切符代として兄弟に借りた 3,000 円がスタート時の資本で、「我慢強く、真面目に、気を抜かず、一生懸命働く」をモットーにやってきましたが、毎日が綱渡りの心境でした。自分を救うものは自分だけということが身に沁みております。人生 50 年かければ小さくても少しは通じるものと考えております。若い頃よりは身体も弱り病氣もしますが、何とか落ち着くところへきたと感じるこの頃です。

今は若い頃の苦しさも記憶の中の片隅に押しやられ懐かしくさえ感じます。苦しい人生でしたが、大きく踏み外さなかったのは、祖母に「道徳に反することをしないように」と寝物語に教えられ、そのことが体に沁みついていたからです。そして、そのことが一番の救いだったと考える今日この頃です



夢、現実に！ デザイナーズハウス

CMD Inc.

CREATIVE MAEDA DESIGNS

(有) 前田建築設計 (一級建築士事務所)

〒276-0045 千葉県八千代市大和田 475-11

TEL: 047-482-1004/FAX: 047-484-5996

E-Mail: mks@maeda-ks.co.jp

HP: www.maeda-ks.co.jp

建設業許可 般-14) 第 40424 号

一級建築士事務所登録 第 1-0204-4608 号

代表取締役

前田 宗伸

取締役

前田 至美

「学友会支部だよりを読ませてもらって」

「南高」が全校同窓会誌ではなく、「学友会東京支部だより」であることに、ちょっと驚きながら、楽しく読ませていただきました。これだけの会報を毎年出すには相当なエネルギーが必要だなと思うのです。東京、神奈川、埼玉、千葉の首都圏だけではなく、長野県や静岡県、京都からの記事など地域色を伝える記事は拡がりを感じさせますね。記事集めは大変でしょう。

読み出しは、ウォーキング記事の楽しい誌面に惹かれ、初めに8号を手にした。6月、7月と続き、11月にもお出かけ、こりゃ凄い行動力だなと読み進むと、それだけじゃないよって、「58年ぶりの修学旅行」「人間のつぼ インドを歩く」「富士登山」「39山の会に参加して」と、まるで南高の仲間たちが地球の上をあちらこちらと動き回っている様が愉快です。そんな楽しい気分で9号へと読み進みました。

最後に7号を手にし、「おたよりコーナー」を読んでいて、なにか、ちょっとホッとした気分になったのです。

あれっ、なんで？と思い、その3ページ分を三度ばかり読み直してみた。そして、はは〜ん、ホッとした気持ちになったのは、ページが右と左に分けられ、一行が半分の長さになっている（横書き二段組）からかなと考えた。

近頃は、A4の用紙に横書きで左から右へいっばいを行としたビジネス文書やパソコン画面が一



櫻井 幹朗（山梨県上野原市 在住）

般的になっている（横書き一段組）。私も日常的に、それに慣れ親しんでいるので、「オレもデジタル社会に生き延びていけそうだ」と合点しているつもりなのだ。

が、7号の「おたよりコーナー」を読み直して、横書きでページが左右に分けられ、一行の長さが半分になっている。いわゆる横書きで左右二段になっているだけで「オレはこれにホッとした気分になったんだ」、と合点がいった。

そんなわけで、私なんぞは・・・まだまだ、やっぱり日本語は縦書きのほうが気分が落ち着くみたいな部類に属する、相当に古いアナログ体質なんだなあ、と思い至っているのです。なんせ、横書きが二段組になっているだけでホッとした気分になっているわけですからね。

そうはいっても8号は横書きで一行が長かったじゃないか、と読み直してみた。そうしたら、8号の成田山表参道・・・横浜再発見！馬込ウォークと、確かに横書き一段組なのだ。こりゃ、どういこうっちゃ、あわてちゃいかん、じっくり読み直してみる。

すると長い行が写真の配置でうまく行替えされ、変化があって読み易いのだ。編集レイアウト次第で随分読みやすさや印象が変化しているのだと気がついた。

「南高」を手にして パラパラとめくりながら、初めに8号の楽しいウォーキング記事の誌面に惹かれたのも宜なるかな！まあ、これがひとつの感想。

2013.1 M. S.



編集部より

木村氏(38年卒)の友人よりこのような私信があり、了解を得て掲載しました。毎回、前号より少しでも読みやすく、親しみのもてる会報をと模索し悪戦苦闘している編集部にとって、これほど嬉しいことはございませんでした。ありがとうございました！今後の編集の参考にさせていただきます。学友会の皆様も何かお気づきの点や感想がありましたらお寄せください。



梅をつむ貴
福つみ
「黄金漬」を潮のような道南産の真昆布で
つつんだ豊かで贅沢な梅干です。



元祖はちみつ梅
こがね漬
黄金漬
選りすぐりの紀州南高梅とはちみつが
醸しだす、まろやかで上品な梅干です。

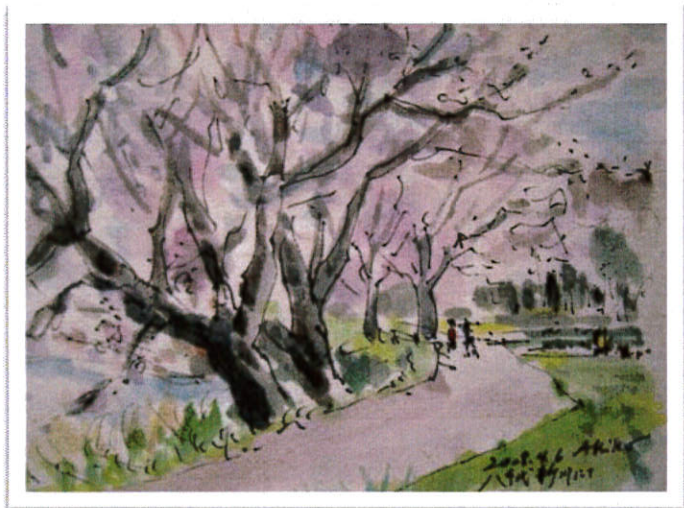
通信販売カタログ・商品のお問合せ、お求めは

フリーダイヤル **0120-197-832** FAX フリーダイヤル **0120-319-515**

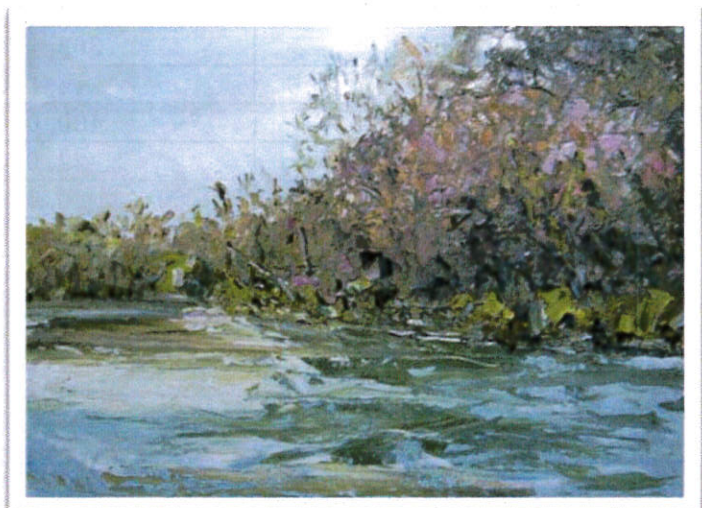
受付時間 平日/午前8時～午後6時 土曜/午前8時～午後5時 FAXおよびホームページでは24時間、受け付けております。

株式会社井グチ 〒645-0027 和歌山県日高郡みなべ町西本庄1224 <http://www.ume1.com/> 井口食品工業株式会社

ミニギャラリー



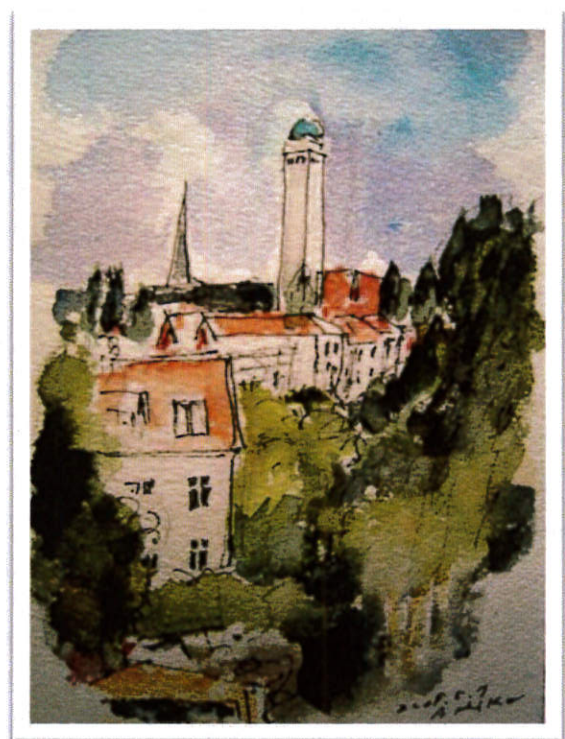
「八千代市 新川にて」



「水辺の春」



「Vacation in Hawaii」



「ドイツにて」

「八千代市 新川にて」「ドイツにて」は 石田明子さん、「水辺の春」は 藤 俊さん
「Vacation in Hawaii」は 池田素子さんの作品です。

平成 23・24 年度支部会計中間報告

(単位：円)

*前年度繰越金に前納者の当期分会費 16,000 円(8 名)を含む

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	244,367	総会運営費	508,277
当期会費受入	362,000	役員会議費	47,233
次年度以降分会費預り	10,000	広報編集会議費	2,800
懇親会費受入	400,000	広報印刷費	79,800
ご祝儀及び寄付受入	22,000	事務消耗品費	19,499
広告掲載料受入	20,000	通信費	90,205
受取利息	6	慶弔見舞金	3,790
雑収入	30,000	雑費	59,731
		次年度繰越	277,038
合計	1,088,373	合計	1,088,373

事務局から

 **ご寄付 ありがとうございます** 

大原 弘子 岡村 茂子 奈古 一雄

*敬称略

上記の方々からご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。
会のために有効に運用させていただきます。

計 報

昨年 次の方々のご逝去されました。
長年 東京支部のために多大なご協力を賜りました。
心より感謝申し上げますとともに 謹んでご冥福をお祈りいたします。

合掌



大野 行男(昭和 28 年卒 大阪支部長)
西林 忠幸(昭和 26 年卒)

浜口 忠央(昭和 28 年卒 東京支部役員)
島崎 康代(昭和 44 年卒) *敬称略

編集後記



1 月、思わぬ大雪、2 月、いつまで続く大寒波・・・、そして 3 月、あちらこちらに春の気配が～と思いきや、なんと一気に夏日とともに大花粉。いやはや、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度も皆さまのご協力のもと、支部だより第 10 号を発行することができました。会員の方だけでなくそのお友達にもこの会報を読んでいただいていることを知り、とても嬉しく思っています。また最近は会員以外の方も投稿してくださり、人と人との輪の広がりを実感しています。

編集は稲井・木村・齋藤が担当しました。今後とも会員の皆さまからの投稿や情報をお待ちしています。写真も添えていただければ有難いです。よろしくお願いいたします。



事務局スタッフ



稲井 清子(旧姓 真造)	Tel・Fax	0467-58-3492	灘井 新一	Tel・Fax	0474-79-5358
宮下 典子(旧姓 西林)	Tel・Fax	03-3986-3253	岩本 喜直	Tel	049-251-1454
齋藤 文子(旧姓 阪本)	Tel・Fax	045-383-8703		Fax	049-252-4370
山崎 春樹	Tel・Fax	0463-58-4295			